

## 1. 単元名 『秋の音楽会』

## 2. 指導についての考え方

### ○児童の実態

本学年は男子〇〇名、女子〇名の計〇〇名の児童で〇学級を構成している。児童の実態は様々であり、音楽に対する興味・関心は幅があるものの、曲に合わせて身体を動かしたり、手遊び歌をしたりすることが好きな児童は多い。また、パネルシアターを見たり、曲に合わせてパネルを操作したりする活動が好きな児童もいる。音楽の時間には、楽器を使った活動にも取り組んでいるが、1学期の学習からの積み重ねにより、自分の好きな楽器を選んだり、意欲的に楽器を鳴らしたりする場面も増えてきている。

学習の中では個人での活動や教師とのかかわりを求める児童が多く、友だちとかかわろうとする姿は少ないが、1学期からの取り組みにより、リトミックで友だちの動きを真似したり、前に出て発表している友だちの様子を見たりと、少しずつ周りの友だちとのかかわりが見られるようになってきている。

今までの学習の取り組みや学校生活の様子から、クラスの友だちだけではなく、他のクラスの友だちとの触れ合いも考慮して、音楽は学年全員での学習形態をとるようにしている。

### ○単元設定の理由

2学期の音楽の学習では、秋を題材にした歌や曲を学習する。そこで単元名を「秋の音楽会」とし、生活単元学習や図工の学習と関連付けながら、木の実や秋の虫と触れ合って「秋」を身近に感じたり、手作り楽器の作成に取り組んで、自分だけの「虫の声」の音色を楽しんだりすることを狙いとしている。手作り楽器を作成することで、児童の実態に合ったものや、興味・関心をより深めることができると考える。また、観察した虫や動物の動きをリトミックに取り入れ、曲に合わせて身体の動きを個や集団で表現することを楽しむようにしたい。

### ○支援にあたっての考え方

#### 学習内容の工夫

- ・児童にとって親しみのある秋の曲を題材として取り上げる。
- ・日常の中であまり接することの少ない虫を実際に観察したり、映像を見たり、木の実を拾ったりして、曲に対するイメージをもちやすいようにする。
- ・1学期の学習では、太鼓やボンゴ、木琴などの楽器に親しむ学習を行ったが、本単元では、他にも手作り楽器を作って演奏し、より児童の実態や興味に応じた楽器演奏を楽しむようにする。
- ・リトミックでは児童が考えた動きを発表したり、活動に取り入れたりして、動きを少しずつ発展するようにする。

#### 環境の工夫

- ・毎回の学習活動の流れは年間を通じて同じにし、児童が学習の見通しをもちやすいようにする。
- ・活動カードを掲示し、授業に見通しをもてるようにする。
- ・係の写真カードを掲示し、児童と教師と一緒に準備や片付けを行うようにする。
- ・準備の場所、片付けの場所を明確に示すようにする。

## 3. 単元目標

- ・秋の虫や木の実に触れ合い、秋を題材にした曲に親しむことができる。
- ・曲に合わせて、楽しく楽器を鳴らすことができる。
- ・周りの人とかかわりながら、身体表現を楽しむことができる。

#### 4. 児童の実態と目標

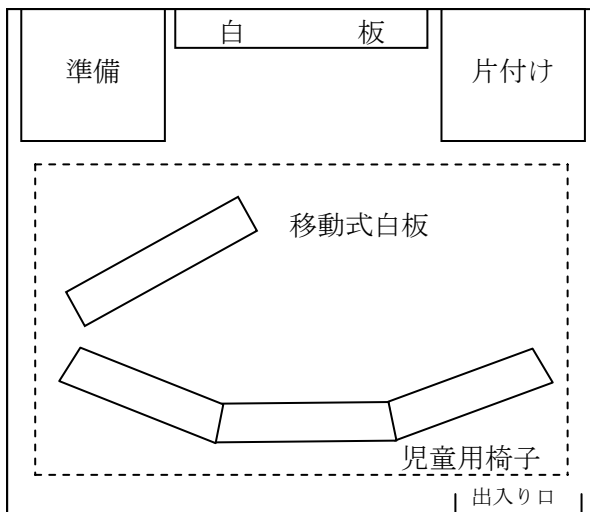
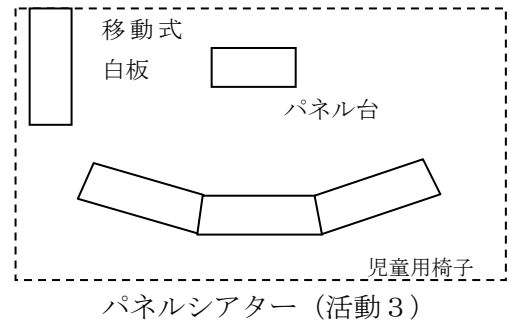
	A児	B児	C児
個別の指導計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音楽を聴いて、歌ったり、踊ったりして楽しむことができる。</li> <li>・簡単なリズム演奏ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとかかわりながら、音楽を楽しむことができる。</li> <li>・友だちの前でも、自信をもって身体表現をすることや、楽器を鳴らすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな曲に合わせて身体を動かしたり、リズムをとったりすることができる。</li> <li>・いろいろな楽器に触れ、親しむことができる。</li> </ul>
単元にかかわる実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽が大好きで音楽を聴きながら自由に踊ったり、歌ったりする姿が見られる。</li> <li>・楽器を持って自分なりのリズムをつけて楽しむ姿が見られる。</li> <li>・パネルシアターに興味をもって見たり、意欲的に貼ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じっと座って待つことが苦手であるが、パネルシアター等では興味をもって見ることができる。</li> <li>・手を挙げて、やりたい楽器や活動を教師に伝えることができる。</li> <li>・学習した歌を覚えていて、歌うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に音楽の授業に参加する場面はあまり多くはないが、リトミックでは、笑顔で身体を動かす様子が見られるようになっている。</li> <li>・打楽器には興味を示し、叩いたり、指ではじいたりすることがある。</li> <li>・家庭では好きな曲（童謡）を聴いて過ごすこともある。</li> </ul>
単元の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて動きを模倣することができる。</li> <li>・手本のリズムを意識して楽器を鳴らすことができる。</li> <li>・音楽に合わせて自由に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの虫の声を意識して、楽器を鳴らすことができる。</li> <li>・友だちの活動をしっかりと見ることができ、また賞賛することができる。</li> <li>・リトミックでは、曲に合わせて自分で考えた動きをすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲を聴きながら、身体を動かしたり、周囲の動きを意識したりしながら活動に参加することができる。</li> <li>・楽器に親しみ、自分から楽器を鳴らすことができる。</li> </ul>
支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リトミックでは、様々な動きができるように、促しを最小限にする。</li> <li>・教師がA児の前方に立ち、楽器のリズム打ちができるように支援する。</li> <li>・暗い場所に対して不安を感じている様子が見られる場合は、そばについて安心できるようにする。</li> <li>・学習活動への意欲が高まるように、A児の動きに拍子をつけたり、賞賛したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れに見通しがもてるように、活動カードを提示する。</li> <li>・自分で選んだ楽器で虫の声を表現することができるように、前で演奏している教師に注目するように言葉かけをする。</li> <li>・B児の様子を見ながら教師と一緒に歌ったり、拍子をとったりして曲に親しむことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れに見通しがもてるように、活動カードを提示する。</li> <li>・自分が座る場所が意識できるように、椅子の背もたれに目印をつける。</li> <li>・C児の様子を見ながら教師と一緒に歌ったり、拍子をとったりして曲に親しむことができるようにする。</li> <li>・C児が扱いやすく、興味がある楽器を用意する。</li> <li>・積極的に取り組むことが難しい時は、教師が動きの見本を見せたり、言葉かけをしたりして促すようにする。</li> </ul>

## 5. 指導計画（全 12 時間）

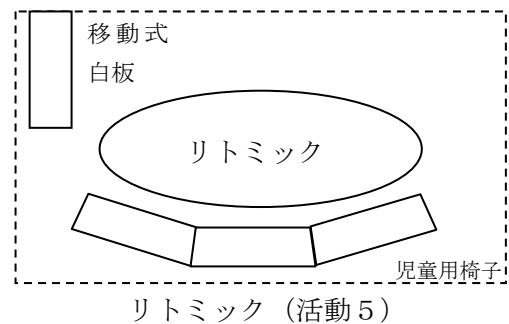
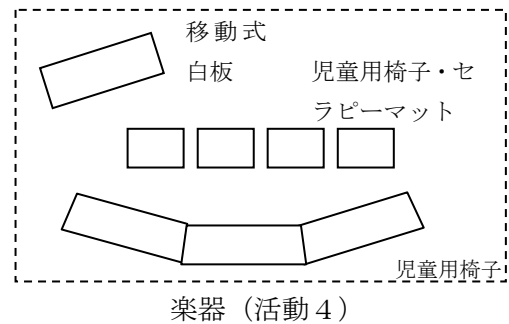
	主な学習活動	目標	配時
第一次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び歌を見よう。</li> <li>・虫の声を聴いてみよう。</li> <li>・虫や動物の動きを知ろう。</li> <li>・パネルシアターを見よう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の曲を聴いて親しむことができる。</li> <li>・虫や動物の動きを見たり，声を聴いたりして親しむことができる。</li> </ul>	3
第二次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師を見ながら手遊び歌をしよう。</li> <li>・楽器を鳴らそう。</li> <li>・虫や動物の動きを真似しよう。</li> <li>・パネルシアターをやってみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の手本を見ながら，手遊び歌をしたり，楽器を鳴らしたりすることができる。</li> <li>・曲を聴きながら楽しく身体を動かすことができる。</li> </ul>	6
第三次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと一緒に手遊び歌をしよう。</li> <li>・好きな楽器を選んで曲に合わせて鳴らそう。</li> <li>・友だちの動きを真似してみよう。</li> <li>・作ったパネルを操作してみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友だちとかかわりながら，手遊び歌をしたり，曲に合わせて身体を動かしたりすることができる。</li> <li>・曲に合わせて楽しく楽器を鳴らすことができる。</li> </ul>	3  2/3 (本時)

## 6. 本時について

### ○場の設定（視聴覚室）



はじまりのうた(活動1)  
手遊び (活動2)  
おわりのうた (活動6)



### ○準備

ラジカセ，CD，テープ，歌詞カード，活動カード，移動式白板，椅子，楽器類，パネルセット（ブラックライト），変身グッズ，セラピーマット

## ○本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・曲に合わせて楽しく楽器を鳴らすことができる。
- ・友だちや教師の動きを真似したり、一緒に動いたりすることができる。

### (2) 展開

	めざす姿	評価
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて歌ったり、踊ったりする。</li> <li>・「虫の声」に合わせて、簡単なリズム演奏をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で前に出ていき、自分なりの表現をしている。</li> <li>・教師のリズム演奏を見て、同じように演奏している。</li> </ul>
	学習内容と活動	支援の工夫
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじまりのうた <ul style="list-style-type: none"> <li>・「パンダ・うさぎ・コアラ」の手遊び歌をする。</li> <li>・始めの挨拶をする。</li> </ul> </li> <li>2. みんなでうたおう（手遊び） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大きなくりの木の下で」の曲に合わせて歌ったり、身体表現をしたりする。</li> </ul> </li> <li>3. パネルシアター <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おつきさま あれ～？」を鑑賞したり、演じたりする。</li> </ul> </li> <li>4. がっきをならそう <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな楽器を選んで、「虫の声」の曲に合わせて楽器を鳴らす。</li> </ul> </li> <li>5. みんなでへんしん（リトミック） <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲に合わせて友だちや教師と一緒にこおろぎ、とんぼ、うさぎの動きを表現する。</li> </ul> </li> <li>6. おわりのうた <ul style="list-style-type: none"> <li>・「バイバイバイ」の曲を歌ったり、身体表現をしたりする。</li> <li>・終わりの挨拶をする。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児が始まったことに気づきやすいように、教師が手遊びをして始まった雰囲気伝えるようにする。</li> <li>・特定の友だちだけでなく、他クラスの友だちとも手遊びができるよう促す。</li> <li>・友だちに優しく接するよう配慮する。</li> <li>・自由に表現できるよう、見守るようにする。</li> <li>・部屋が暗くなったことで不安を感じた時は、A児が貼るうさぎを提示して安心できるよう支援する。</li> <li>・持っているうさぎを提示して貼ることができることを知らせる。</li> <li>・貼ってきたA児に対して賞賛するなどの支援を行う。</li> <li>・手本のリズムを意識できるよう前方でリズム打ちをして示す。</li> <li>・リズム打ちをしている様子を見て賞賛したり、手本を示したりする。</li> <li>・様々な動きが引き出せるように見守るようにする。</li> <li>・活動への意識が途切れてしまった場合には言葉かけなどの支援を行う。</li> <li>・新しい動きをした場合など教師も一緒になって模倣するなどして、活動を楽しむことができるようにする。</li> <li>・A児が楽しんでいることを十分に発揮できるよう教師が歌ったり、身体表現をしたりして場を盛り上げるようにする。</li> </ul>

	め ざ す 姿	評 価
B 児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の音を工夫して鳴らしている。</li> <li>・特徴をとらえて、身体表現をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫の声に合わせて、違う楽器を選んだり、楽器の鳴らし方を変えたりすることができる。</li> <li>・自信をもって、曲に合わせて動くことができる。</li> </ul>
	学習内容と活動	支援の工夫
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじまりのうた <ul style="list-style-type: none"> <li>・「パンダ・うさぎ・コアラ」の手遊び歌をずる。</li> <li>・始めの挨拶をする。</li> </ul> </li> <li>2. みんなでうたおう（手遊び） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大きなくりの木の下で」の曲に合わせて歌ったり、身体表現をしたりする。</li> </ul> </li> <li>3. パネルシアター <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おつきさま あれ～？」を鑑賞したり、演じたりする。</li> </ul> </li> <li>4. がっきをならそう <ul style="list-style-type: none"> <li>・「虫の声」のフレーズに合った楽器を選択し、曲に合わせて楽器を鳴らす。</li> </ul> </li> <li>5. みんなでへんしん（リトミック） <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲に合わせて友だちや教師と一緒にこおろぎ、とんぼ、うさぎの動きを表現する。</li> </ul> </li> <li>6. おわりのうた <ul style="list-style-type: none"> <li>・「バイバイバイ」の曲を歌ったり、身体表現をしたりする。</li> <li>・終わりの挨拶をする。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の始まりを意識できるように「パンダ・うさぎ・コアラ」の歌を教師と一緒に歌う。</li> <li>・前に出て活動できるように言葉かけをする。</li> <li>・動きが分かりやすいように、教師は動きを大きく演じる。</li> <li>・「あれは何かな」や「どうなったのかな」などと言葉をかけ、物語を把握しながら鑑賞できるようにする。</li> <li>・自分が持っているパネルを貼るように言葉かけをし、できたら賞賛する。</li> <li>・自分の意思で楽器を鳴らすことができた時は賞賛をする。</li> <li>・楽器の演奏に集中できる場の設定をする。</li> <li>・友だちが楽器を演奏している様子を見るように言葉かけ、教師も一緒に見るようにする。</li> <li>・楽しく動き出せるように、教師は動きを大きくし、分かりやすいようにする。</li> <li>・自分で考えた動きをしている時は賞賛し、教師も同じ動きをするようにする。</li> <li>・大きな声で歌を歌うように言葉をかけたり、B児のがんばったことを一緒に振り返ったりすることで、次への学習の意欲を高めるようにする。</li> </ul>

	めざす姿	評価
C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器を鳴らして音を楽しむことができる。</li> <li>・曲に合わせて身体を動かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から楽器を何度も鳴らすことができる。</li> <li>・リトミックでは周囲に合わせて進んだり、自分から身体を動かしたりすることができる。</li> </ul>
	学習内容と活動	支援の工夫
	<p>1. はじまりのうた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「パンダ・うさぎ・コアラ」の手遊び歌をする。</li> <li>・始めの挨拶をする。</li> </ul> <p>2. みんなでうたおう（手遊び）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大きなくりの木の下で」の曲に合わせて歌ったり、身体表現をしたりする。</li> </ul> <p>3. パネルシアター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おつきさま あれ～？」を鑑賞したり、演じたりする。</li> </ul> <p>4. がっきをならそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな楽器を選んで、楽しく楽器を鳴らす。</li> </ul> <p>5. みんなでへんしん（リトミック）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲に合わせて友だちや教師と一緒にこおろぎ、とんぼ、うさぎの動きを表現する。</li> </ul> <p>6. おわりのうた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「バイバイバイ」の曲を歌ったり、身体表現をしたりする。</li> <li>・終わりの挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の座る椅子が分かりやすいように、椅子の背もたれに目印をつける。</li> <li>・C児の様子を見ながら、教師が手を添えたり、一緒に歌ったりする。</li> <li>・学習の始まりが意識できるように言葉かけをする。</li> <li>・教師が手を添えたり、一緒にリズムをとったり、歌ったりして楽しい雰囲気曲を楽しむことができるようにする。</li> <li>・「うさぎがいるね」「おつきさまが変わったよ」など、場面の変化に合わせて言葉かけをし、パネルに意識を向けることができるようにする。</li> <li>・タンバリンや手作り楽器などを提示し、C児の好きな楽器を選ぶようにする。</li> <li>・自分から楽器を鳴らすことが難しい時は、教師が手を添えるようにする。</li> <li>・C児が主体的に動く時は活動を見守るようにし、自分から動くことが難しい時は教師が促したり、動きの見本を示したりして一緒に楽しむようにする。</li> <li>・曲や動きが変わる時は、変わることをC児に伝え、いろいろな動きで表現することができるようにする。</li> <li>・本時の中でC児ががんばったことを賞賛しながら、楽しい雰囲気を作るようにする。</li> <li>・C児の様子を見ながら、教師が手を添えたり、一緒に歌ったりする。</li> <li>・学習の終わりが意識できるように言葉かけをする。</li> </ul>